

まんだら通信

平成19年(2007)03月 佛誕2573年

295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口1084
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍渉
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040
URL <http://www.awa.or.jp/home/ryusho/>
E-mail ryusho@awa.or.jp

花まつり

二千五百年前のことでした。

「私の生まれたところはね、どこからも雪に輝くヒマラヤの峰々が見えるんだよ。」とおっしゃった通り、ネパール領の南はずれルンビニという、お父上シュッドーダナ王の花園での出来事でした。

お母様マヤー夫人が、咲き競うアソカの小枝に手を伸ばされた時お生まれになった王子こそ、後にブツダと慕われるお方になります。生まれるとすぐに七歩あゆみ、天地を指さして「天上天下唯我独尊」と、高らかに宣言されました。

南の国々に伝わった上座部の仏教、スリランカやミャンマー、タイなどではお誕生と成道とお涅槃の日を一緒に祝います。それは五月の満月の日、ウエサクとい

いスリランカなどでは国の祝日になります。聖者のご誕生に感激した龍王が、甘露を注いで産湯としたと伝えます。

日本には、お誕生は四月八日のことだったと伝えられています。

この日、全国のお寺では花御堂を飾り、誕生仏を安置して甘茶を漉ぎお誕生をお祝します。

紫雲寺でも昔からの形通り、御堂の屋根に良く捏ねた泥を盛り、沢山の花で葺いて花御堂を作ります。必要になる花々は、もう何年も前から名倉の親戚、淵辺家の奉納です。

年によっては咲き終わっているのですが、今年は何とか間に合って、まだ咲き残っている大島桜をあしらうことができました。



マヤ堂遠景

お釈迦様がお生まれになったルンビニについては、中国僧の法顕や玄奘三蔵の旅行記(仏国記、大唐西域記)に詳しく書かれています。その場所が何処にあるのか分からなくなっていたのだそうです。一八九六年、今から百年少し前、フューラーという学者さんが漸く突き止めた時、そこはジャングルのような森の中だったそうです。

けれども、土地の人達は二五〇〇年の間『マヤ堂』という名前が、ずつとお祀りしてきたのでした。右の写真がそれで、大きな菩提樹の下にお堂があり、手前の煉瓦はお坊さんたちの住いの遺跡です。

お堂の中には、お経に書いてある通り、右手を挙げたお母さまと小さなお釈迦さま、侍女達が彫られています。



ジャズライブのタベ



7月7日(土)6時半～
紫雲寺本堂
入場料2,500円

ドラム&バラフォーン・中村達也
ピアノ・テリー上野
ベース・サイレント原田
& フルート・深津純子

- ◎ キャラバン
- ◎ ブルーボッサ
- ◎ ワークソング
- ◎ マイワン オンリーラブ
- ◎ イバネマの娘
- ◎ 黒いオルフェ
- ◎ サマータイム 他

先月号でちょっとお知らせしたコンサートのことです。

右にあるように、曲目が決りました。

そして新たに、フルートの深津純子さんが加わることになりました。深津さんは毎年のふれあいの会主催の『ふれあいコンサート』で既にお馴染みですが、更に素晴らしい演奏が聴けることになりました。

リーダーの中村さんとは面識はないのですが、国内外を飛び回って活動していらっしゃる実力派のようで、今から楽しみです。

どうぞご期待下さい。

◆ 今日、午後1時からのBSハイビジョン『ハイビジョン・クラシック倶楽部』は、オランダの『ザ・ジェンツ』(The Gents、紳士たち)という男声グループの無伴奏コーラスでした。

シューベルトやイギリス民謡で、みんなを酔わせたプログラムの最後は、八代亜紀さんの『舟唄』でした。

去年秋、南総文化ホールでの天満敦子さんのバイオリンコンサートの時も、バッハの無伴奏ソナタなどの最後が矢張り演歌で、『北の宿から』でしたが、何れもそれまで静かだった客席が一瞬ざわめきました。

“高尚”な音楽を聴きに來たのに“低俗”な演歌が飛び出した違和感・・・

と勘ぐりましたが、私の感想は多分間違いではないと思いますよ。

幕末、浮世絵を見たフランスの画家たちが、その表現の素晴らしさを学んで、印象派といわれる新しい絵画を世に送り出した話は有名ですが、そのきっかけの一つが、陶磁器を輸出する時の詰め物に使われていた浮世絵を、あちらの画家がを見つけ、その新鮮さに驚いたことだったという、ウソみたいな話があります。

技術のことは例外ですが、西洋風は良いもの、日本風は劣ったものという劣等感が、何処かに残っている気がします。

プレジデントという名前の車は、多分『大統領号』では売れないでしょうね。

◆ 今月の野草はムラサキケマン(ヤブケマン)【けし科ムラサキケマン属】です。

道端やヤブの縁など、湿っぽく日当たりの良くない所を好むようです。

ケマンは華鬘で、仏様の飾り物です。

春一番に咲きはじめる野草ですが、今年は咲き始めが特に早く、ウッカリして撮り損ねました。

写真はつい先日、富津の円正寺さまにニリンソウを撮らせてもらいに行った時のものです。

◆ 『房州わんだらんど』という“井戸端会議”の場所があります。パソコンや携帯電話をお持ちの方、メールでのご連絡をお待ちします。新しい友達作りのきっかけになります。



07/04/09 龍渉

余滴